

(株)東ハト 関東工場

強化サポーター型アシストスーツ「ソフトパワー」の導入により、従業員の体の負担を軽減し、人材が定着する職場づくりへ

数々のロングセラー商品を生み出してきた菓子メーカーの(株)東ハト。同社の関東工場は、重量物を扱う従業員の体を第一に考えた結果、昨年7月、(株)イノフィスが開発した強化サポーター型アシストスーツ「マッスルスーツSoft-Power」(以下、ソフトパワー)を導入して従業員の負担を軽減し、人材が定着する労働環境への改善を試みた。



東ハト 関東工場

工場概要

所在地：埼玉県入間郡三芳町
上富1332
操業：1952年
従業員数：778人
敷地面積：3万5398m²
延床面積：3万6742m²
出荷製品：スナック菓子、クッキー・ビスケット、キャラクター商品など



左から、生産業務部総務課長 柳沢光明氏、生産業務部長 馬場誠氏、生産業務部総務課係長 雲田一宏氏

数々のロングセラー商品を 取り扱う関東工場



主な製品：左から「ビーノ」「ポテコ」「なげわ」「あみじゃが」「暴君ハバネロ」「ソルティ」「キャラメルコーン」「オールレーズン」「ハーベスト」

東ハトは1952年に前身となる東京製菓(株)として創業し、96年に現在の社名に変更。創業から今日に至るまで「最高の品質を追求」し、菓子製品の製造を手がけてきた。71年に発売した「キャラメルコーン」を筆頭に「オールレーズン」「ポテコ」「なげわ」「ハーベスト」など、独創性あふれるロングセラー商品が多いのが特徴だ。現在、約230アイテムを取り扱い、ビスケット類4割・スナック類6割の構成で菓子製品の全てを関東工場で製造し、全国各地に供給している。年々売上げを伸ばす中で、特にポテコ類が

人手が必要な 重量物を扱う工程

関東工場では、製品の包装材料(約20kg)を台車に乗せて包装機にセットする作業(写真1・2)や、資材が搬入される資材課でパレットに積まれた製粉袋(20〜25kg)を下ろす作業(写真3・4)など、重量物の移動を人手で行う工程がいくつかあり、同社は従業員の体の負担を軽減し、現場の労働環境を改善する方向へ動き出した。

「短時間とはいえ、腰をかがめ20〜25kgの資材を移動する作業は、従業員の体に負担がかかり、腰痛などの支障を来します。従業員の体を守るため、また労働環境を改善するとともに、人手不足が深刻化する将来に備え、人材が定着する方法を探りました(生産業務部長 馬場誠氏)」

強化サポーター型 アシストスーツ 「ソフトパワー」の導入

同社は従業員の体の負担を軽減する方法として、アシストスーツの導入を検討し、イノフィスが23年6月に新たに開発した「ソフトパワー」を導入し

従業員の安全と健康を 第一に考えた職場づくりへ

今回のソフトパワーの導入を踏まえ、馬場部長は次のように述べる。「弊社としては、従業員にけがなく安心して働いていただき、人材が定着することが大切です。従業員の体を守るための費用なら惜しみません。もちろん自動化・省人化も進めています。まだまだ人手が必要な作業もありますが、従業員の安全と健康を第一に、今回のアシストスーツの活用を含め、作業改善を図っていきます。今後も弊社の安全衛生基本方針「安全と健康は、事業経営の推進並びに従業員の生活を支える基盤である」を念頭に置き、安全で働きがいのある工場を目指していきます」

アシストスーツの導入により 従業員の体の負担を軽減

現状、同社では資材課で2着、製造ラインで1着、生産業務部での清掃業務で1着、アシストスーツを活用している。現場の従業員に話を伺うと、「体の負担、特に腰の負担が軽減しました」「重い物を運ぶときは必ず着用します」といった声が上がった。このようにアシストスーツ導入によるメリットは大きい。課題もあるという。

「労働環境の改善にはつながりましたが、まだまだ課題もあります。『着用しながらではやりづらい作業がある』『着用時に違和感がある』『もう少しサポート力が欲しい』といった声もあり、イノフィスさんには、現場のリアルな意見を製品のさらなる向上に生かしていただければ幸いです。ただ、間違いなく従業員の体の負担は軽減されており、特に中高年齢層の方々の助けになっていますので、作業に合わせて上手に使用していきたいと思っています」(生産業務部総務課係長 雲田一宏氏)



5 資材課では「ソフトパワー」を2着常備している(1着は使用中)

- ① 背中部分にある調節ベルトの表示を自身の身長に合わせて、肩ベルトをリュックのように背負う。
- ② 胸バックルを留めて肩バックルを外し、膝の皿の下にベルトを留める。
- ③ 左右の肩バックルをつなぎ、肩ベルトを引っ張り締める。
- ④ 腰クッションをへその裏側の高さに来るよう調整。クッションはかがんで物を持ち上げる際の支点の役割を果たす。取り



1,2 包装材料(約20kg)を台車に移す作業 3,4 製粉袋(約25kg)を台車に移動する作業

外しができるので、フォークリフトなどの車両を運転する際もスーツを着用したまま行える。「昨年の夏ごろに各アシストスーツのデモンストレーションを行い、現場担当者や役職者が実際に着用してみて、4着導入することにしました。決め手は、手ごろな価格と小回りが利くことです。持ち運びがしやすく、狭い場所でも使用できる点も非常に魅力的でした」(生産業務部総務課長 柳沢光明氏)